

# 会員の ひろば

北海道医報では、特定の個人・団体を誹謗、中傷する内容等を除いた幅広い多様性のあるご意見を掲載させていただいております。

## PMF

函館市医師会  
函館新都市病院

あさ い やすふみ  
浅井 康文

国際教育音楽祭である、パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌（PMF）は、間近にある贅沢である。今年のPMF2022 オープニング・コンサートは、7月16日に開幕する。2,008席ある札幌コンサートホールKitaraは、札幌芸術の森・野外ステージと並んで、PMFのメインの舞台となっている。1997年に完成したKitaraは、ギリシャ神話の音楽神であるアポロンの楽器「キターラ」と「北」の意味が込められている。2002年にロシア出身のワレリー・ゲルギエフは、その音響の素晴らしさに感動し、2006年に、Kitaraをモデルにしたマリンスキー劇場コンサートホール（現在は芸術監督）を、サンクトペテルブルグに完成させたのは有名な話である。今年の2022年は札幌とミュンヘンの姉妹都市提携50周年である。1972年に札幌でアジア初の冬季オリンピック大会が開催され、同じ年にミュンヘンで夏季オリンピック大会が開催された。それがきっかけで、札幌とミュンヘン市との姉妹都市関係が結ばれた。ミュンヘンは、現在ロシアと戦争中であるウクライナ的首都キエフ（現在はキーウ）とも姉妹都市でもある。2015年-2019年のPMFで、芸術監督であったワレリー・ゲルギエフは、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者を2015年から務めていた。彼はプーチン大統領と親しいとされ、ミュンヘン市がロシアのウクライナ侵攻に対して「明確に、無条件に距離を置くように」と要請したにもかかわらず、反応を示さなかったため、解雇されている。1874年にロシアのムソルグスキーによって作曲されたピアノ組曲『展覧会の絵』は、ラベルの編曲の管弦楽『キエフの大門』で知られる。今後は『キーウの大門』と呼ばれるのであろうか？

札幌中島公園にKitaraがあり、1990年6月26日か

ら7月14日に開催されたPMFの初代芸術監督でもあるバーンスタインの指揮像が立っている。当時、ホテル・ニドムに滞在し、当時の部屋やサインをしたピアノを、現在も見ることができる。バーンスタインは体調を崩しており、その年の10月14日に72歳で肺癌により亡くなった。PMFの指揮はこの時が最初で最後となった。バーンスタインとの思い出となると、1986年の演奏会がある。1986年と言えば、4月26日に当時のソ連の構成国であるウクライナ・ソビエト社会主義共和国でチェルノブイリ原発事故がおきた年である。UCLAに留学していた8月9日に大学のキャンパスにあるロイス（Royce）ホールで、23年ぶりにニューヨーク・フィルハーモニックがバーンスタインの指揮でロスアンジェルスに演奏に来ると言うので、新聞に大々的に報道された。満員の演奏会では、バーンスタインが作曲したミュージカル「キャンディード」序曲と「セレナード（プラトンの『饗宴』による）」が演奏された。このセレナードは、PMFの第1回（1990年）と2018年に、ヴァイオリン独奏者として五嶋みどりが2度演奏している。この時のセレナードに続いて、休息を挟んで、目玉であるチャイコフスキーの交響曲第6番悲愴が演奏された。チャイコフスキーは、ウクライナのコサック出身と言われている。ご承知のようにこの曲の第3楽章はあたかも終楽章のように終わる。バーンスタインは足踏みをしてこの楽章を終わり、何人かの観客は交響曲が終了したと思い、感動しておもわず拍手をしていた。そしてその直後にこともあろうか火災警報が鳴り響いた。観客と団員はすぐさまホールの外へ非難し、20分位の後に警報が間違いであることを確かめて、もとの場所にもどった。バーンスタインは第4楽章を始めるにあたって集中できないのか、指揮棒をふりかざしたまま約2分間静止し、やっと演奏を始めた。第4楽章を終えると、この演奏を乗り切った感動で、観客総立ちの拍手であった。しかし、いくら拍手をしても、アンコールはなく終了した。

この時の予期せぬ出来事があった演奏会を思い出しながら、札幌の地で1990年よりバーンスタインにより始まったPMFが地元で根ざした国際教育音楽祭に発展していることに喜びと平和を感じる。

# 「美」の旅 '21

根室市外三郡医師会  
町立別海病院

やまうち  
**山内** おさむ  
**修**

昨年(2021)11月、私は妻と一緒に鳥取県から山口県にかけて旅行に行きました。その時にいろいろな「美」と出会うことができたので、備忘録的に記したいと思います。地図をご用意ください、一緒に行ってみましょう。( )内は車の移動距離。

①鳥取駅のH→②大江ノ郷自然牧場→③人形峠→④妖精の森ガラス美術館→⑤白壁倶楽部→⑥琴櫻記念館→⑦三朝ヴァイオリン美術館→⑧キューリー夫人広場(106km)

レンタカーを借りて出発です。③かつてウラン鉱石が採れた場所。④人形峠のウランを着色料として使用したガラス器の展示・販売所。紫外線ライトで美しい蛍光発色。⑤倉吉市内でオムライス美味。⑥美しい「不知火型」の土俵入り。⑦バラバラのヴァイオリン部品で魂柱をマジ見。

⑨鳥取県の三朝温泉のH→⑩蒜山高原→⑪足立美術館→⑫安来節演芸館(127km)

⑩スイスを思い出す牧歌的な美しい眺望。⑪「喫茶室・大観」で昼食(美味しいビーフカレー)後、急いで回って4時間の滞在。美しい庭園と横山大観の美麗なる絵画に圧倒される。⑫足立美術館の隣にあり、この昆布茶は美味(昆布は北海道産)。

⑬鳥取県の皆生温泉のH→⑭美保関の灯台→⑮水木しげるロード→⑯ベタ踏み坂→⑰島根県の日本庭園由志園→⑱彩雲堂→⑲コメダ珈琲店→⑳松江城→㉑小泉八雲記念館(93km)

⑭往訪3日前に重要文化財指定、一階に9時からのレストランあり。江差との北前船の寄港地。⑰「牡丹の館」では一年中美しい牡丹が咲く。⑱美味しい和菓子の店。⑲ナポリタン美味、私のコメダ初体験。⑳ここで私たちは国宝5城を制覇。㉑今年の「医報」5月号の拙著参照。

㉒島根県の玉造温泉のH→㉓八重垣神社→㉔荒神谷博物館→㉕献上そば羽根屋本店→㉖広島県の奥田元宗小由女美術館→㉗辻村寿三郎人形館(137km)

㉓硬貨を紙に乗せ池に浮かべ、沈む距離と時間で恋占い。㉕開店前に行列、五色割子そば超絶美味。㉗「開運!なんでも鑑定団」に個人出品の、美・恐ろしい人形「玉梓」(5,000,000円)のことを訊く<sup>1)</sup>。㉘広島県三次市のH→㉙山口県の防府天満宮→㉚宮の蕎麦兎屋→㉛山頭火ふるさと館→㉜毛利氏庭園(博物館)→㉝大楽寺→㉞湯田温泉のH(224km)

㉞学問の神様、菅原道真公を祭った神社です。11月にて受験生の姿がちらほら。絵馬は何枚も掛けて

ありました。文章博士の次に右大臣となった彼は、その後政治的に失脚します。左遷先は九州の大宰府で、2年後59歳で死去。死後に疫病や落雷・洪水などの災害が相次ぎます。道真公が怨霊となり、国を滅ぼしていると恐れられたのです。彼の霊を鎮めるため、各地に神社(天満宮)を建てました。怨霊から「天神様」になったのです<sup>2)</sup>。

③この日は休館日でした、残念。

③一本では折れるが「三本の矢」を束ねると折れない、の言葉は毛利元就とされます。それを書いたであろう「三子教訓状」が現代語訳つきで展示されていました(重要文化財)。「三兄弟が仲良く協力して、毛利の家名を大切に、長く繁栄をはかるように」と書いてあります。「矢」は出てきませんが、これが「三矢の訓」になったとのこと<sup>3)</sup>。

③伝説の美しい女優・夏目雅子が眠っているお寺です。彼女は1957年12月17日東京都生まれで、19歳時にカネボウ化粧品のCMで注目されます。その後、テレビ「西遊記」や映画「鬼龍院花子の生涯」などで活躍し、26歳時に伊集院静と結婚。27歳の2月に急性骨髄性白血病と診断され入院。治療を進めるも、9月11日に死去しました。

大楽寺では直接、彼女の眠るお墓に行きました。すると墓石に5円玉や10円玉が並んで置いてあったのです。私も5円玉を置いてお参りをしました。その5円の製造年が平成27年だったのです。夏目氏は27歳で亡くなっています。

偶然同じ数字と話しつつ車に戻ると、妻が「彼女の死と三浦和義<sup>4)</sup>の逮捕は、たしか同じ日だったのでは?」とのこと。別海に帰り図書館で北海道新聞を当たってみました。確かに1985年9月11日の10時16分死亡、片や23時26分逮捕でした。

ここで西洋占星術のポイド時間<sup>5)</sup>が関係しているかもしれない、と思い調べてみました。ポイド時間帯は一週間に3ヵ所ほどあり、夏目氏はポイド、三浦氏はポイドではない、でした。夏目氏はみんなが悲しむ「魔の時間帯」に亡くなっていたのです。

「ひまわりの 美人薄命 旅終わり」(涙)。

〈参考・補足〉

- 1) 寿三郎11歳時広島市内から三次に転居。その4日後に広島原爆。
- 2) 森 公章著「天神様の正体」。
- 3) 読売新聞「毛利元就没後450年特集」。
- 4) 1981年ロス事件の「疑惑の銃弾」の主演。
- 5) 今井由利香著「月が創る魔の時間 ポイド」。



## 夏の暑さを癒すパン

函館市医師会  
函館渡辺病院

みずせき きよし  
水関 清

初夏のある日、隅田川境界での所要をすませて時計を見ると、帰りの飛行機の出発までには、まだ時間がある。ふと、いつもの帰り道に変化をつけるのも一興と思い立って、隅田川を渡ることにした。羽田空港方面へ直通する都営浅草線の電車に乗る際に利用するのは、いつも浅草駅であるが、対岸にある本所吾妻橋駅から乗っても、十分に間に合う。

東京スカイツリーを背景にして、東武鉄道の特急列車が隅田川にかかる鉄橋を渡る姿を見るべく、吾妻橋上に立ったのである。

あらかじめ東武特急の運転時刻を調べていたわけではなかったが、そこは東武路線網の要であり続ける浅草駅のこと、関東各地からこの終点駅を目指して列車が次々に入ってくる。ほどなく、オレンジ色の帯を車体に巻いた日光線特急・スペーシア編成がやって来た。隅田川とそこから旧・中川方面に開削された運河である北十間川が分流する地点に設けられた源森（げんもり）川水門のあたりで、いったん速度を緩めた列車は、ゆっくりと鉄橋（正式には、東武花川戸鉄道橋）の上を走って、列車の終点である浅草駅に入線する。

隅田川観光の一翼を担う屋形船が何艘も係留されている、北十間川の分流地点からすぐのところにかかる「枕橋」と、その次の「源森橋」とは、鉄道写真愛好家のメッカとして知られる。北十間川にかかるこれら2本の橋のたもとに立つと、東武浅草駅を発着する東武特急とスカイツリーとを、ほど良い角度で1枚の写真に収めることができる。とくに終点・浅草駅を目指す上り列車は、高架の手前側を走るために、列車の塗色が高架の側壁に隠されることもなく、編成全体をよく見るのにも好都合である。

などという鉄道蘊蓄が脳裡を占めていたためだろうか、足はいつのまにか吾妻橋のたもとを左折してしまった。アサヒビールの特徴あるモニュメントを右に見ながら隅田川沿いに歩を進めると、ビルとビルとの間の細長い空間に嵌めこんだような、スカイツリーのスマートな立ち姿が望まれる。

そこを過ぎて道なりに右にゆくと、2本の橋が連続して見えてくる。「枕橋」と「源森橋」であるが、両橋の名前の変遷はややこしい。すぐに見えてくる「枕橋」の創架は古く、1662（寛文2）年。墨堤通り上を、水戸藩の下屋敷（現・隅田公園）に向かう橋であり、1875（明治8）年までは「源森橋」を名乗っていたという。この「源森橋」から「枕橋」への改称にともなって、新たに「源森橋」の名を譲り受けたのが次に見えてくる橋である。

ちょうど、紅色の帯を車体に巻いた伊勢崎線特急・

りょうもう編成がやって来て、スカイツリーと絶妙な角度を保ちながら、これまたゆっくりと浅草駅へ向かう。東武を代表するふたつの特急列車を見ることができた幸運に感謝しつつ、源森橋を後にして、北十間川の河岸から浅草通り方面へと緩やかに下る道をたどる。

その道の名を、「三ツ目通り」という。旧・中川と隅田川を東西に結ぶ運河である豎川（たてかわ）には6本の橋が架けられており、隅田川に近い順から数えて3本目の橋は「三之橋」と呼ばれた。豎川に架けられた三ツ目の橋である「三之橋」の上に敷設された通りなので、「三ツ目通り」と呼ばれたのである。現在は東京都道319号環状三号線として整備され、国道1、4、6、14、20、246、254、357号と接続することによって、大阪、青森、仙台、千葉、松本など、各都市との間を結んでいる。

また豎川というユニークな名は、この運河の走行方向が、江戸城に向かって縦（東西）に流れることにちなんだものだという。豎川の北には先ほど立ち寄った「北十間川」があり、南には、関東に移封された徳川家康が最初に開削した運河として知られる「小名木川」が流れている。いずれも隅田川と荒川水系の支流である旧・中川との間を結ぶ運河であり、水運による物流の要として重要な役割を果たしていた。ちなみに、豎川があるのなら横川はどうかと調べてみると、三ツ目通りと平行して横（南北）方向に、「大横川」と「横十間川」という、2本の「横」を名乗る川がある。

東武浅草駅から吾妻橋を越えて浅草通りをまっすぐに歩くと、都営浅草線の本所吾妻橋駅がある。この駅は、隅田川をはさんで、浅草駅と向かい合っている。羽田空港方面への直通電車が、本所吾妻橋駅を出発すると、次に停まるのが浅草駅なのである。

三ツ目通りと浅草通りとが交じわる交差点の一角にあるはずの、その駅への入り口を探し歩くが見つからず、やむなく「三ツ目通り」に平行する「墨堤通り」との交差点まで来たところで浅草通りを引き返す。そこで目に入ったのが「塩パン屋」と書かれたエメラルドグリーン看板の看板。故郷の町で見かけたものにそっくりで、思わず扉を押して中に入る。そこには、見覚えのあるパンの数々が、籠に入れられて並んでいた。早速買い求めて頬張ってみると、外はしっかりとした歯ごたえ、中はもっちりという、舌が覚えている記憶が呼び覚まされた。

バターを巻き込んだパン生地に岩塩の粒を散らしたものを、10個ほど一度に鉄板に載せて焼くと、中のバターが溶け出して底がカリッとする一方で、中はもっちりとした、塩味のアクセントが効いた「塩パン」が出来上がる。後に判ったことだが、そんなアイデアから生まれたパンが、故郷では苦労人として知られる父親から、二人の息子さんに受け継がれ、そのお一人が、ここ隅田川の堤でお店を構えていたのだ。

汗をかいて塩分が欲しくなる夏場でも、このパンなら食べやすい。急に思い立っての隅田川境界巡りは、「おいしい記憶」を甦らせてくれたのである。

## アウトバーン走行記

十勝医師会  
はまだ内科医院

はまだ えいいち  
濱田 栄一

私は若い頃から車の運転が好きで、どこかへ行くときはできるだけ車を使うことにしています。これまでに2回ドイツのアウトバーンを走る機会がありました。1回目はもう30年位前ですがオーストリアのザルツブルクでBMW520を借りてドイツのフランクフルト空港で返却。2回目は数年前、フランクフルト空港でベンツEクラスを借りてザルツブルクで返却。いずれも3日間で約1,000km走りました。アウトバーンは基本3車線で、右端を大型トラックが100km/hくらいで走り、真ん中を一般の車が120~140km/hくらいで走行。左端の追い越し車線はスポーツカーなどが200km/h以上で駆け抜けて行きます。走行マナーは極めて良く、追い越し車線に150km/h以下で居座る者はまずいません。日本車も見かけますが、多くの日本車は120km/hくらいで右端か中央の走行車線をゆっくりと(?)走っています。高速巡航走行を主眼に設計されていない日本車は無理からぬことです。私は折角のアウトバーンだからと追い越し車線を中心に200km/h超にも挑戦しましたが、すぐに分かってきたのは200km/h巡航だと遠くの視界が狭くなり、常に緊張を強いられるということです。180km/hであればかなり緊張は緩和されますが、長距離をリラックスして運転できるのは160km/hくらいが最も良いということが分かりました。速度無制限で有名なアウトバーンですが制限もあります。快適に走っていると160⇒140⇒120⇒100と制限が次第に低速になり、その先には必ずカーブが控えています。最初はそれを理解しておらず指示どおりに減速せずカーブに突入して肝を冷やしたことがありました。カーブを抜けると逆に120⇒140⇒160と緩和され無制限となります。このようにアウトバーンは極めて合理的に造られており、高速で長距離を安全に走ることの価値をドイツ人は大切にしているということがよく分かります。ちなみに合計6日間2,000kmの走行で事故はただの一度も目撃しませんでした。ドイツ以外でレンタカーで走った国は英国ですが、英国も高速道路網が充実しており、一般国道はAクラスとBクラスがあり、A国道の制限速度は60マイル(96km/h)です。ここを80km/hなどでのんびりと走ろうものなら周囲に大迷惑をかけます。ただし監視カメラが随所にあり5kmでもオーバーすると警察から通知が来ます。旅行者だからと無視して帰国するとブラックリストに載り再入国できなくなるのでご注意ください!

## 筋トレ

江別医師会  
江別こばやし眼科

こばやし かずお  
小林 和夫

趣味で筋トレをしている。

もともと筋トレに興味があったこと、クリニックを開業しひと段落つき、趣味を探していたところ、しっくりきた。

歯磨きをするように、ごく自然に筋トレをできたら良いと人は言う。

一日さばれば取り返すのに数日かかるとも人は言う。

まだまだ人様にお見せできる筋肉ではないが、徐々に成長していくところが楽しい。

パーソナルトレーナーでもつけたいところだが、このご時世のため独学である。

ありがたいことに書店、YouTube等さまざまは情報があふれており、独学で行けるところまで行ってみようと思う。

中年からのスタートのため、達人と自分とのギャップに落胆することもしばしばあるが、見て見ぬふりをする。

先日、自分に負荷をかけるために大会にエントリーした。

大会は若者ばかりだったが、中には還暦をこえているような方も参加していて勇気づけられる。

確かに若い方がバキバキになるんだろうけど、年を取ってからでも筋肉は身につくということだろう。わざわざ趣味に対して大会にエントリーしなくても…と考えた。

筋肉を鍛えてどうするの?実際には使えない筋肉でしょ。との意見もあるだろう。

でもいいのである。

大会で好成績をだしてから、筋肉の活用方法を考えればいいのである。

手段が目的になって上等。どんな形でも、筋トレを続けるモチベーションが続けば良いのである。

筋肉を身に着けたあとは、中国語とか南米の言葉とかも学んでみたい。

最終的には老後の海外旅行につながればと考えている。

英語の勉強はよく筋トレに例えられる。

タイトルおよび1段落目の文章は「筋トレ」を「英語の勉強」に、「筋肉」を「英語」に、「大会」を「TOEIC」に変換したものが正しい文章である。

ちなみに筋トレはしたことがない。

独学は孤独だが、そもそも勉強自体孤独なものと諦め、もう少し頑張ってみようと思う。

## ギリギリセーフ

小樽市医師会  
大倉山学院

で みせ まさたか  
出店 正隆

最近表題のようなお笑いのネタが流行っているようですが、自分の半生を振り返ってみると、いろいろ「ギリギリセーフ」なことがありました。

その1)

小学低学年の頃、家族で有珠山（噴火前）に登った時、崖っぷちで記念写真を撮るのに父親から「そこにしゃがみなさい」と言われしゃがもうとしたら、体が硬いボクはそのまま後ろに引っくり返り、断崖絶壁から転落しそうになるも、父が駆け寄って支えてくれてギリギリセーフ。

その2)

小学高学年の冬、凍結防止のためトイレにルンペンストーブ（死語）の中身（内筒）を置いていた。用をたした後、ボクは一酸化炭素中毒で気を失いそのまま後ろに転落（一段上がってしゃがむタイプのトイレ）。咄嗟に異変に気づいた母が助けてくれてギリギリセーフ！・・・って今考えたら完ペキに親の大バカ行爲じゃねーか！

その3)

医者になって3年ほど経った頃、当時で言う「Non-A non-B 肝炎」に罹った。GPTは4桁。「劇症一步手前」と言われ、「強ミノC大量療法」というのを受けたが症状は遷延。このまま肝硬変、肝癌への道かと観念しかけた矢先、大学でインターフェロンの治験が始まるが受けてみるかと主治医。藁にもすがる思いで受けた治療が見事に著効し肝機能は見る見る正常化、ウイルスは消失。医学の進歩のおかげでギリギリセーフ。

その4)

平成某年、精神保健指定医の5年に1度の更新をすっかり忘れていて敢えなく失効。「オレの精神科医生命は終わった…」と絶望したが、その数年前に厚労省で「指定医の確保について。失念等により指定医資格の更新期限を超えた場合について、運転免許と同様、再取得の際に一定の配慮を行うこととしてはどうか」という議論があり、失効後1年以内は救済措置が受けられるようになっていたことが判明。大至急手続きし、東京で講習を受け、ギリギリセーフ！

他、ここには書けないようなやばいギリギリセーフ多数。おかげさまでこうして還暦過ぎまで無事生きてますとさ。

## 学びの機会を得て

旭川市医師会  
旭川リハビリテーション病院

くろしま きよみ  
黒島 研美

私が臨床研修指導医養成講習会に参加したのは平成22年です。当時の勤務先は臨床研修病院で、平成16年から始まった臨床研修制度のもと研修医を受け入れていました。大学から離れて長く、また自分の受けた卒前・卒後教育から大きく制度が変わったために、特に研修医の話す卒前教育に関するさまざまな用語は恥ずかしながら意味不明で、講習会に参加してようやく卒前教育から臨床研修制度の概要を理解できたことを覚えています。講習会参加後、講習会世話人（タスクフォース）としての参加のお誘いをいただき、現在の勤務先に移った後もそのご縁で講習会への参加は続いています。参加することでさまざまな学びがあり、自分自身の臨床へ向かう姿勢が変わったことは大きな収穫であったと感じています。感銘を受けた言葉も数々ありますが、その中に「教育とは学習者の行動に価値ある変化をもたらすプロセスである」という一文があります。ここでの学習（修）者は医学生や研修医ですが、私たちが日常よく使う「患者教育」という言葉もまさにこれで、患者さんが自分の病気と向き合うとき、病気と共に生きていくときにその行動に価値ある変化をもたらすプロセスと言い換えることができるのかもしれないと感じました。この一文は昭和53年に発行された「医学教育マニュアル・1. 医学教育の原理と進め方」に書かれており、医学教育に携わってきた先人はその時代すでにこのような信念に基づいて私たちの教育の基盤を作ってきてくれたのか、と感動したことを覚えています。

臨床研修病院を離れて3年が過ぎ、研修医教育の現場の空気を感じづらいうちで講習会への参加を続けていますが、参加者から学ぶことも多く、自身の成長にもつながる活動を、今後も続けられればと考えています。

最後に、講習会参加のために勤務先の病院を留守にすることについて、御理解・御許可をいただいている病院長とその間の業務をカバーしていただいている当院の先生方に心からの感謝を申し上げます。

# Fancy Fragments of “Fantasy” Fitted For Feasible Facts Analogue

札幌市医師会  
華岡青洲記念病院

はなおか けいいち  
華岡 慶一

私は、学童期・思春期の心の葛藤を経て、結局、故郷札幌にて医学教育を受けて臨床トレーニングを積み、循環器内科医として働いてきた。今回、「母親の心原性脳塞栓による入院」を契機に——発症時の父の発言「もう十分生きた。楽にしてやれ」に反発して——自分と母親の関係を中心に書いてきた。それは、母の生命危機の対処を含めた全てが、まるで、今までの私の人生を評価されているかのように感じたからだ。

先ほど、母と父は、3回目のワクチン接種で、元気に来院した。発症からの1年間も、いろいろなことがあった。私には、COVID-19パンデミック(2020～)に始まり、アメリカ大統領選挙(2020)、ウクライナ侵攻(2022～)とこの2年余りに起きたことが偶然とは思えない。二人は、ブースター接種を終えて玄関脇の椅子に座り、仲良くタクシーを待っていた。その日は、大雪のために自家用車で来ていた。両親に「車で送ろうか?」「Drive My Car?」(玄関待合のBGMでは偶然ビートルズのその曲が流れていた)と言った時、タクシーが着いた。立ち上がった母はタクシーに乗り込む直前に、急に真顔になって私の耳元で囁いた。「あんまりお父さんにきつく言わないほうがいいよ。その後、結構落ち込んでいたから」と言う前から乗車した。36号線へ左折して去っていくタクシーの後ろ姿を見送りながら私は呆然と玄関で立ち尽くした。なんてこった(WTF)。そうだってことはわかっただろうに(……would've known that)。この1年、母親が助かった因果を辿っていろいろ書いてきた(親父に苦言も吐き)。子供の頃からの、潜在意識中の「エディプス・コンプレックス」「Baby you can Drive My Car. And maybe I'll love you.」は、とっくに克服できただろうに(……could've been overcome)。……ドゥルーズは機能すべきだった(したはずだった)のに(……should've worked)。

気がつくとBGMは、“Norwegian Wood”に変わっていた……。“Isn't it good Knowing She Would.”

最近、記事に関連した昔の写真を探してアルバムを覗いたら、父親が50歳過ぎに社内報に投稿した記事を見つけた。それは、父が自分の父親(私の祖父)に苦言を呈する導入だった! その話の——私とは違うオチだが——親子関係の問題構造は一緒だと思った。そこで母はなんと「あんまりお父様にきつく言わない方がいいですよ」と父を諭していた! 果たして我々はいつになったら「超人」になれるのか? 「未人」の輪廻はいつまで続くのだろうか……。

ポール・マッカートニーは、2018年のインタビューで、60年代後半の頃(グループの存続に関して苦悩していた頃)に、夢に亡くなった母親(彼が14

歳の時、死別した)が出てきて、“Let it be. It's going to be OK.”と言われ、救われた気持ちになった話をしていた(母親の存在意味)。あの時代、ビートルズは身近なBGMとして時々の空気に浸透していた。あの1980年12月8日の速報も5th. Av. Bld.の「TOWER RECORDS」(日本1号店)で聞(聴)いた。記憶を辿りながら、心の葛藤とは、対象がこの世にあってもなくても、結局は変化する心(成長・回帰)とその対象との距離感の問題であると思った。

……どこからか、“When I'm sixty-four.” @ Sgt. Pepper's Lonely Hearts Club Bandのサビが鳴った。そして、この続きは『64歳になったら』(私がジイさんになったら～)と先送り(目前だが……)することにした。

今回、昨年からの投稿を見ていただいた読者の方(女性の反響が多いのは母親ネタだから?)から、記事の内容に即して——母子の記憶のスーベニアとして——以下のようなイヤプレートをいただきました。服装、構図ともそっくりな写真があることに驚いています。ありがとうございます(当時、犬は飼っていませんが、1958年は成年でした)。そして、最後まで読んでいただいた皆様と読者を置き去りにするスタイル(と指摘されたこともある)のエッセイを掲載——商業雑誌と職業的作家ではできない——していただいた編集責任の先生と担当者の方から感謝いたします。



# 寿命再考

札幌医科大学医師会

うらさわ しょうぞう  
浦澤 正三

高校時代に親しかった5人仲間の4人が他界し、最も虚弱だと思っていた自分だけが生き残った。「何で私が」と不思議な気がする。以前から本誌誌上などで人生や寿命についてその時々を思いを記してきたが、80歳代も後半に入った今また同じようなことを考えている。

人生100歳時代が到来すると言われる。「長寿」は全ての人間が望み目指す目標であるかのように言われるが、果たしてそうだろうか。人生が自己実現の場であるとすれば、「何をして100歳の長い人生を生きるのか」というその内実についても考える必要があるのではなかろうか。

大雑把に言って、子供時代は教育を受けあるいは自ら学び、人生に必要な知識・技能を得る期間である。成人すると、職業に就き、あるいは個人営業を営み、家庭を築き育児をするなどして“現役時代”を過ごす。相応の年齢に達して、職を離れ気ままな隠居生活に入る者、ボランティア活動に従事する者、自ら望み現役生活を続行、あるいは経済的理由などで働き続ける人生を送るなどして残りの人生を過ごす。多くの人々は、上記のそれぞれの人生の段階で、一様に長生きを願いながら生きてるように見える。

翻って、多くの疾病の発生に環境要因と遺伝要因が関係することは医学の常識である。そうだとすれば、寿命についても同じことが言えるのではあるまいか。

主要な環境要因の一つに職業がある。職業は、当人の性格、興味、能力、置かれたさまざまな環境などの要因の下で選択されるが、一旦選ばれた職業は日常生活の様態に大きな影響を与える。人々が生活の基盤を固めるこの人生の繁忙期“現役時代”は、求められる技能と自らの能力・興味との適合性、職場環境などがやり甲斐とともにストレスをも生み、健康、ひいては寿命に影響する可能性がある。

一方では、自らの意志により敢えてリスクが高くストレスの多い生活に挑戦する人々もいる。近いところでは、アフガニスタンで農民の貧困からの救済に生涯を捧げた「ベシワール会」の故中村哲氏、再度の太平洋横断中の冒険家・堀江謙一氏、山岳登山家などである。また、飛行機・パラグライダーの操縦など広義の“趣味”が寿命に影響する可能性もある。

性格・性向は職業の選択に影響するとともに、日

常生活の中で遭遇するさまざまな事態にどのように対処（行動）するかにも影響する可能性がある（例えば、車の運転の慎重さ、腫瘍自覚時の病院受診行動など）。この意味では性格（これは一部遺伝要因とも関係すると思われるが）が一定程度、障害・疾病の発生と予後、従って寿命に影響を与えるといえるかもしれない。勿論、遺伝素因が特定の人々の長寿の蓋然性を高めることもあることだろう（長寿者の家系）。

人生が自己実現の場であるとするならば、生活基盤の確立のために働く現役時代に続く約30～40年間の“余生”の過ごし方も重要である。では、この期間の生き甲斐についてはどう考えたらいだろうか。

ここ数年は日常の散歩の合間、「長生きは本当に良いことだろうか」、「人さまざま、人生長いばかりが能じゃないのでは？」などの考えが浮かんで消えていたが、これが最近では次第にある結論めいたものに収斂してきた気がする。すなわち「人生の過ごし方は端的に言って2つ、“成すため”の人生か、“見るため”の人生か」ということである。

人生が何事かを成し遂げるための場と考える人は、多くの人と繋がり組織を動かして成果を挙げようとする政治家、事業家、各界の指導者などがその典型であるが、単独で人類未踏の分野に挑戦し成果を残そうとする者（上記の太平洋横断中の堀江謙一氏などの冒険家や山岳登山家）、あるいは一人夜昼なく働いて自らの業績を残そうとする者もいるだろう。このような人たちは、時に健康上の無理やリスクを厭わぬ行動で、寿命を縮めることがあるかもしれない。

また一方、業績を残すことは二の次で（あるいは現役時代でそれは卒業してしまっただけ）、周囲の自然や社会環境に親しみつつ生き永らえて、ことの成り行き、世の行く末を見届けたいと考える人も居り、これらの人々はリスクな行動を避け、できるだけ無理をせずに日々を過ごしたいと願う。

私はどちらかと言えば後者のタイプで、若い頃からあまり余計なことはせず、結婚するまで親元から職場に通い、もっぱら省エネ人生を送ってきた。冒頭に記した、高校時代の親友が全て他界した中で虚弱な私が長生きしているのも、このせいではないかと今は思っている。

これから先もきよろきよろ辺りを眺め感じながら世の移り変わりを見てみたい。ただ長生きすると見たくないものを見、聞きたくないことを聞くこともある。その最たるものが常識では考えられない本年2月末以来のロシア軍によるウクライナ侵略であるが、見るための人生を選んだ以上、目を逸らすことなくその成り行きを見届けなければならないと強く思っている。

# 命の値段

札幌市医師会  
札幌新川整形外科

むらかみ としや  
**村上 俊也**

平成14年度2.7%減の改定以来、20年間、診療報酬は下げ基調になっている。岸田首相の説く看護職員の待遇改善とは画餅を超える妄想以外の何物でもない。

## 医師の給与に相当する診療報酬

報道機関の解説する「診療報酬」には、きまってこの枕詞がつく。医療施設の経常経費は水道電気光熱をはじめ診療に要する資器材や消耗品の購入、医療機器の保守・更新、各種検査等の外注、手術に用いる高額機械など人件費以外にも多岐に及ぶ。電気料金を説明するのに北電職員の給与に相当する料金と表現するだろうか。公共料金は事業の公共性に鑑み、過不足ない原材料の確保、施設の円滑稼働に要する整備や更新、職員研修や技術革新のための研究など安定した事業継続のため人件費を含む必要経費に適正利潤を上乗せして決められる。これを総括原価方式という。この原理は外部から補助を必要としない独立採算が原則となる。では医療はどうか。まさしく水道、電気、ガス、公共運賃などその性格は変わらぬ。しかし日本の保険医療施設は売上に相当する医療費を自らは決定できない。今日、公立病院の約7割が赤字経営であるという。赤字補填を前提とした医療費の設定自体に支払側（保険者側）も疑問を抱くべきである。

営業利益率を業種別に俯瞰すると他人の金を原資に利ざやを稼ぐ金融保険、銀行業などは常に10%以上の高水準を維持している。コロナ禍でも8%は降らない。一般サービス業で6%、空洞化が危惧される国内製造業でも5%台を維持している。一方、医療法人の利益率は2.0%（平成31年：福祉医療機構データ）である。構成比率の90%は病院、老健であり、診療所は3.5%に過ぎないが、診療所の借入金比率は61.4%と病院主体の54.0%よりも7%余りも高い。令和4年度の診療報酬改定は5期連続のマイナスとなった。政府は中医協での議論に支払側と診療側という巧妙な対立構造をつくることにより自らの責任を放棄し、支払側は賃上げなくして医療費のみを優遇出来ぬというレトリックに踊らされている。本来、彼らが為すべきは政府の愚かなる経済施策に対する諫言であり、医療機関の財務健全化に対する進言である。

## 高すぎる医薬品、医療材料

平成26年発売時、約73万円/100mgであったオプジーボが昨年5月に15万5千円に引き下げられた。最初の価格設定は適切であったのかと訝る。日本の医療費に占める薬剤費比率の高さは世界一である。平成29年度報告では22.0%となっているが、仏、独、

英は16.0%、14.6%、11.6%である。門前薬局の調剤報酬は院内処方時の3倍あり技術料の総額はこの10年で2.4倍となった（平成29年）。医師の活躍場所が減る傍らで薬剤師だけが増えている。近年、薬価収載された脊髄性筋萎縮症に対するゾルゲンスマは1億6,700万円、白血病治療薬キムリアは3,349万円いずれも単回使用だが、筋ジストロフィー治療薬ビルテプソは毎週点滴が必要であり薬代だけで毎月300～500万円を要する。高額薬剤はオーファンドラッグだけではない。C型肝炎治療薬ハーボニーや免疫療法薬キイトルーダなどは毎年の売り上げが軽く1,000億円を超える。アルツハイマー病治療薬アデュカヌマブは昨年、米国で年間5万6千ドル（日本円約630万円）で迅速承認されたが、治療効果に疑念が出現し今年半額に値下げされる。今後、数百万人の潜在患者がいる日本で承認される場合、年間、数千億円規模となることは間違いない。また保険医療材料の内外価格差という問題もある。国内の医療機器市場は3兆円を超え、米国について第2位である。かつてペースメーカーや冠動脈ステントが米国製品の6倍、人工股関節用ステムが伊国製の8倍の価格であった。手術に使用するチタン製金属螺子はホームセンターで、数百円で入手できるものが人体用というだけで数十万円に跳ね上がる。材料代が手術点数を凌駕することも多い。昭和60年の日米MOSS（Market Oriented Sector-Selective）協議以来、増え続ける特定保険医療材料の手術料に占める割合は30%を超えている。それらは主たる外国メーカーの収益となっている。政府は製薬、調剤そして機器メーカーが医療費を蹂躪する構造を軽視している。言うまでもなく病を治すのはモノではなくそれを使うヒトの技術である。

## 低過ぎる医師の技術料

無痛分娩のトラブルの多くは脊椎麻酔、硬膜外麻酔の失敗に起因する。腰椎麻酔は薬量、注入速度、年齢、体形、患者姿勢などを考慮して行うが、低位麻酔になれば手術に耐えられず、高位麻酔になれば血圧低下や肋間筋麻痺が生じる。産科では母体と胎児の二つの命を同時に扱わねばならず、その困難は通常外科の比ではない。このようなリスクを伴う麻酔料は高々850点である。上肢手術に要する腕神経叢麻酔は170点しかないが、手術に耐えるべく正中、尺骨、橈骨の三神経を確実にブロックするには高度の技術を要する。術中透視装置使用加算220点はX線を浴びながら手術する際の危険手当に相当するが、労災診療にのみ限定され、医療人が自ら命を削る職業被曝はいまだ改善されていない。散髪に4,000円、パーマに8,000円要求される時代である。職業に貴賤はなくとも職能には明白な軽重がある。ヒトの命を扱う技術が安かろうでは成り手が育たぬ。政府は医療費を軽視し国内混乱を来した英国を反面教師とすべきだ。医師は何十年もの修業に耐え独り立ちし、壮絶な修羅場に翻弄され、ときに謂れなき暴力により殉職する。医師を志す若者が減ってからでは遅いのだ。